

平成28年度 第1回 秋田市公立大学法人評価委員会 会議録

1 日 時 平成28年7月12日(火) 13:30～15:00

2 会 場 秋田市役所 4階 会議兼応接室

3 出席者

【委員】

野田 敏明 委員長

鏡 隆千代 委員

野見山浩平 委員

福士 文友 委員

三浦 潔 委員

【公立大学法人秋田公立美術大学】

霜鳥理事長兼学長、柴田副理事長、渡邊副学長、富樫理事兼事務局長、北島総務課長、大山学生課長、北嶋企画課長、ほか関係職員

【設置者・評価委員会事務局】

柿崎企画財政部長、松山次長、佐々木企画調整課参事、加藤主席主査

4 議 事

評価委員会事務局

ただいまから平成28年度第1回「秋田市公立大学法人評価委員会」を開会する。

5人全員の出席をいただき、本委員会条例に規定されている定足数を満たしていることを報告する。

それでは議事に入る。会議の進行を、野田委員長にお願いします。

委員長

次第にしたがって議事を進める。

まずは、配付資料を確認しながら、本日の議事進行方針を説明する。

別紙1、2で業務実績の評価、別紙3、4で財務諸表への意見を聴取する。

【議事(1)】

秋田公立美術大学平成27年度業務実績について

委員長

それでは、議事(1)の「秋田公立美術大学の平成27年度業務実績について」事前聴取への対応状況を審議する。大学から説明をお願いします。

公立大学法人

(別紙1、別紙2に基づき説明)

委員長

それでは、各項目について、意見を聴取する。

委員

はじめに、47番の「年度計画評価指標」について、低く設定すれば高い実績となる傾向になる。特に、ⅡからⅣに上がった項目は、一般論だが設定自体に疑問がある。確かに、計画以上に実施した実績だったが、かえ

って悪く見られる印象がある。

公立大学法人

我々も初めて実施している事業もあり、どのあたりが適切な目標設定かわからないこともあり、指摘のとおり悪く見られる印象となることも理解できる。次の中期計画設定の際には、そのあたりも考慮したい。

委員

事業については、地元新屋地区を中心に非常に良くやっていると思う。その結果、IV評価が毎年増えていくが、最終的にはIVだけであっぷあっぷすることにならないか。評価が下がることはないのか。

公立大学法人

26年度の評価では、教員の評価システムと国際交流の分野が手についていなかったため、IIの評価だったが、27年度は、ある程度進めることができ、III（又はIV）となった。

また、就職率100%が達成目標となっているが、設定の仕方が少しおかしい部分があるので、すべてIVになる訳ではないが、ご懸念の点は一般的にはあろうかと思う。

委員

我々の組織も、PDCA方式で事業を毎年自己評価しており、その甘辛が議論になる。100%完全な人間も組織もないことから、どこかに課題があることが第三者から見るとむしろもっともらしいと思う。メリハリを付けた評価をすべきで、機会を捉えて適切な目標設定をして欲しい。

委員

全体的な感想としては、国際交流分野が1年間でだいぶ進んだり、大学がある新屋地域との取組が積極的に行われている点は非常に良いことである。IVやIIIというような個別の評価については、特にこだわりはない。

また、平成29年度から大学院を開設するが、海外に開かれた学校として、海外に研究に行ったり、海外から研究に来てもらったりするなど、良い国際交流活動を進めて欲しい。4年制の大学だと、海外には遊びに行く程度の経験かもしれないが、大学院となれば本格的な研究活動により、良い教育風土が形成されるとよろしい。

委員

内容が膨大なので、新規項目に絞り意見を述べるが、イベントを実施した際、事業の概要やアンケートの記載が全般的に寂しい。限られたスペースでどこまで盛り込めるかは難しいが、ある程度目についての方がより良い内容となるので、可能な限り盛り込んで欲しい。

また、大学がある新屋地区との交流は、地元ならではの臨場感を持って接して欲しい。

委員長

今日の意見を事務局で集約し、次回の委員会で確認したい。

【議事(2)】

秋田公立美術大学平成27年度財務諸表について

委員長

それでは次に、議事(2)「平成27年度財務諸表について」を審議する。大学から説明をお願いする。

| | |
|--------|--|
| 公立大学法人 | (別紙 3、別紙 4 に基づき説明) |
| 委員長 | 事前聴取の結果、財務諸表への意見等および対応状況は、2 項目のみである。財務諸表全体から意見があれば願います。 |
| 委員 | 2 ページの損益計算書で、経常利益が340万円程度だが、収益が11億円から比較すると0.3%となるが、これは他の美術大学と比較するとどういうレベルになるか。 |
| 公立大学法人 | 本学は、秋田市から運営費交付金をもらって、運営している大学なので、利益が多く出ることを目的としていない。 |
| 委員 | 利益が多く出ても困るし、マイナスになっても困るという認識で良いか。 |
| 公立大学法人 | そのとおりである。 |
| 委員 | 大学関係者から、大学運営がとても大変だという話を聞いているので、確認してみたところである。 |
| 公立大学法人 | 私立大学は、経常経費として国からの補助金、検定料、入学金、授業料等で運営しているが、3～4割が定員割れで赤字となっている。 そのため、私立大学は大変だと思うが、公立系の大学は、親方日の丸までは行かないが、かなりのところを設置者が配慮してくれているので、当学はうまく回転していると思う。 また、今回の評価は27年度が対象だが、28年度になれば学生が100人増えるので、収入的にはプラスになるし、志願倍率が4倍程度あるので、検定料もうまく回っている。 将来的に市の方で、どこまで支援をしてくれるか期待しているところである。 |
| 委員 | 教育は100年の計と昔から言われている。1年1年はもちろん大事だが、やはり教育に投資して将来を託すしかない。 国立大学や公立大学は、毎年一定の割合の金額を減らされているが、このまま続くと、大学運営が困難になる。 |
| 公立大学法人 | 行政にとっては、社会福祉に一番お金がかかっており、将来的には改善されるかもしれないが、少子高齢化社会では、高齢化が解決しても、少子化が解決されない。少子化対策に役立つのが、まさに教育だと思う。 ご指摘のとおり、小中高大学と長い目で投資してもらおうとありがたい。 |
| 委員 | 業務活動のキャッシュフローがマイナスになっており、民間企業だとつぶれている状態である。そのため、実態はどうなっているか質問したところ、補助金が3月末が未収で期間がずれて入金となっていることから、資 |

金は回っているとのことだったので安心した。

委員長

質問のみでその他、特に意見はないようなので、当委員会では「意見なし」として決定する。

【その他】

委員

大学では、毎年毎年充実しながら活動を進めているので、さらに伸ばして欲しい。

特に、中心市街地では、わくわくする期待感があるイベント等を行うことで人が集まるが、日常的なところは特に人が集まらない。そのため、大学サテライトセンターもあるが、学生たちが卒業制作展を通年で行ったり、教員が制作活動をするなど、何らかの形で秋田県そして秋田市のために活動して欲しい。

金沢や直島^{なおしま}（香川県）などは、毎年芸術活動が盛んになっているので、大学も活動を積み重ねて進めて欲しい。

ところで、大学院設置認可申請は順調か。スケジュールはどうなっているか。

公立大学法人

今年3月に申請して、6月に設置審から改善意見があったが、それは修正して回答すれば良いもので、8月末には認可となる運びである。

委員

大学認可と国の予算編成は連動しているのか。

委員

連動していない。大学院認可は教授陣の資格審査などが中心で、予算と別物である。

公立大学法人

学生も大学周辺でカフェを運営したり、その中で学生の作品を展示即売しているが、市内の中心部に拠点があれば、学生もうまく活動ができるし、良い経験となる。

評価委員会事務局

次回は、7月28日に15:00～16:30、この会場で開催する。これを持って会を終了する。